

●演題発表について

《発表資格》下記の条件をすべて満たす必要があります。

- 日本自己血輸血・周術期輸血学会会員の方**(未入会の方は急ぎ入会ください)**
- 抄録集に演題が掲載されている方
- 事前参加費用のお支払いがお済みの方

《演題の取り下げ》

- 今後、原則として演題の取り下げはお受けできません。
- 演題を取り下げる特別な事由(入院、不慮の事故など)がある場合は、~~6月30日~~**7月7日**(火)までにその旨を演題名・ご所属・筆頭演者名・取り下げ理由を記載のうえ、学会事務局 (info@jsat.jp)にメールでご相談ください。

《発表演題作成と登録について》

- **演題登録期間:7月1日(水) 正午~7月31日(金) 23時59分**
- **演題登録に必要なもの**
 - 1) 医師演題、看護師演題にかかわらず、皆様、発表原稿をご用意ください。
発表時間と文字数は後述の《演題別の発表形式と発表時間および閲覧について》を参照ください。
 - 2) マイクとカメラを内蔵している PC をご用意ください。
 - 3) 原則として、スマホの使用はご遠慮ください。
- **お急ぎお願いしたいこと**
演題登録期間が7月1日~7月31日と切迫していることから、急ぎ発表パワーポイントと発表原稿(読み原稿)をご用意ください。

- **発表演題作成方法**

下記のいずれかの方法でファイル作成をお願いいたします。

- ① 総会長講演、理事長報告、共催セミナーV(貯血式自己血輸血の実際)、共催セミナーVI(細胞凍害保護液 CP-1 の役割)、シンポジウムIV(合同輸血療法委員会)、ワークショップI~V、教育講演I~III、一般演題

各演者が個々にパワーポイントからMP4音声ビデオファイルを事前に作成し、7月31日までにサーバーへアップロードください(期限終了直前にアップロードする場合には、ファイルに問題がある場合は対応困難となりますので、可能なら7月27日までにアップロードください)。

MP4音声ビデオファイルの作成法は別添えのPDFを参照ください。

ITに不慣れな方でもマニュアルに従えば簡単に作成できます。

- ② 上記以外のシンポジウム、ランチョンセミナー

セッションごとにPC上で演者が一堂に会し、Zoomで収録したMP4音声ビデオファイルをサーバーにアップロードください(Zoom収録は7月22日までに終了する予定)。

● 発表演題登録方法

抄録集に記載されている「演題番号 演者名」(演題番号と演者名の間に space を入れる)をファイル名としてください。拡張子が「.mp4」になっていることも確認してください。

セッション名	発表順	筆頭演者名	ファイル名
総会長シンポジウム(CS)	1 番目	安村 敏	CS-1 安村 敏.mp4
シンポジウムⅡ(SYⅡ)	5 番目	脇本信博	SYⅡ-5 脇本信博.mp4
教育講演Ⅱ(ELⅡ)	2 番目	高橋和寛	ELⅡ-2 高橋和寛.mp4
一般演題1	2 番目	菊池 啓	O-02 菊池 啓.mp4

《演題別の発表形式と発表時間および閲覧について》

MP4 音声ビデオファイルや Zoom 収録ファイルは閲覧時期よりも前(7 月)に作成します。そのため、オンデマンド配信(9 月 2 日~18 日)で発表を閲覧される方は質疑応答をできません。ご了承ください。

発表は時間厳守をお願いします。

発表原稿の文字数の目安は概ね 280 字/分です。

セッション	ファイル作成方式	発表時間	座長総括コメント	総合討議	閲覧者との質疑応答
総会長講演 共催セミナーⅥ 細胞凍害保護液CP-1の役割	MP4音声ビデオファイル	30 分	10分	なし	なし
理事長報告 共催セミナーⅤ 貯血式自己血輸血の実際	MP4音声ビデオファイル	30 分	なし	10分	なし
総会長シンポジウム(CS) アルブミン製剤 シンポジウムⅠ(SYⅠ) 自己フィブリン糊 シンポジウムⅡ(SYⅡ) 保存前白血球除去 シンポジウムⅢ(SYⅢ) リスクマネジメント 看護師シンポジウム(NS)	Zoom収録→ MP4ファイル	8 分	なし	30 分	なし
シンポジウムⅣ(SYⅣ) 合同輸血療法委員会	MP4音声ビデオファイル	8 分	10分 (未定)	なし	なし
ワークショップ(WS)Ⅰ~Ⅴ	MP4音声ビデオファイル	8 分	なし	なし	なし
教育講演(EL)Ⅰ~Ⅲ	MP4音声ビデオファイル	20分	なし	なし	なし
ランチョンセミナー(LS)Ⅰ・Ⅱ	Zoom収録→ MP4ファイル	22 分	なし	10分	なし
一般演題(O)	MP4音声ビデオファイル	7 分	なし	なし	なし

《演題発表に伴う取得単位》

- 自己血輸血看護師は発表することで、参加単位・教育セミナー受講単位とは別に、5 単位取得できます。
- 自己血輸血責任医師は発表だけでは単位になりません。